

参加無料

自治体担当者が学ぶ 「地域・行政と連携した商店街活性化」に関する 勉強会

地域課題の多様化・複雑化に伴い、自治体等との協働・連携を通じた、地域課題解決に向けた取り組みへのニーズは高まっています。本勉強会では、地域を巻き込んだ面的な商店街支援の必要性や地域・行政と連携して商店街活性化に取り組む事例を紹介するとともに、担当者間の情報交換による気づきの機会を提供します。是非ご参加ください。

日時

令和5年7月5日（水）
14:00～17:00

場所

リアル開催

さいたま新都心合同庁舎
1号館 8階会議室

JRさいたま新都心駅 徒歩4分
JR北与野駅 徒歩10分

対象者 定員 30名

地域づくり担当者、地方創生、
地域経済活性化、商業担当者、
地域課題解決事業に興味がある
自治体関係者

※同自治体からの参加は2名まで

プログラム

第1部

①コミュニティビジネスについて

広域関東圏コミュニティビジネス推進協議会 代表幹事 永沢 映

②地域を巻き込んだ商店街（面的）支援のすすめ

広域関東圏コミュニティビジネス推進協議会 幹事 竹林 晋

- ◇商店街支援のスタートに必要なもの
- ◇商機能以外に商店街が持つべき機能とは
- ◇面的支援に必要なこと

第2部

③事例紹介 「地域・行政と連携した商店街活性化の取組」

川崎駅広域商店街連合会 事務局 福田 広美 氏

JR川崎駅と京急川崎駅を含む駅前の商業者の団体「川崎駅広域商店街連合会」は、8年ほど前に2つの商店街連合会が合併し、現在は16商店街と14の大型店で構成されている。行政や警察と連携して、「客引き防止活動」や道路を活用した「テラス営業」の推進など、商業環境づくりに注力。昨年度は、「川崎宿」の地域資産をフィーチャーしたイベント「多摩川の渡場フェス」を開催するなど、新しい魅力の発掘にも挑戦。

④パネルディスカッション「商店街が地域・行政と連携していくポイント」

川崎駅広域商店街連合会 事務局 福田 広美 氏

神奈川県産業労働局
中小企業部商業流通課
商業まちづくりグループ
鈴木 博明 氏

神奈川県庁で商業振興担当一筋38年目。神奈川県内の主に「金無い、人無い、店も無い」という「ナイナイ商店街」の方たちに元気を出してもらい、金が無くてもできる知恵と、人がいなくても手伝ってくれるネットワークの提供を主に得意としている。

川崎市経済労働局
観光・地域活力推進部
地域活性化担当係長
桑原 明子 氏

商業者や関係団体等と連携しながら、川崎市内の商店街等の賑わい創出や課題解決に向けた取組等を支援し、地域の魅力向上や活性化を促進。令和4年度からは、商業者支援と観光推進の部署が統合され、川崎市に市内外から多くの方が来訪し、魅力溢れるまちとなるよう取り組む。

ファシリテーター：

広域関東圏コミュニティビジネス推進協議会 幹事 竹林 晋

第3部

⑤情報交換・意見交換

申込

WEBフォームより必要事項をご記載頂き、お申し込みください。

https://mm-enquete-cnt.meti.go.jp/form/pub/kanto02/ryutsu_study_group

※申込期限 6月29日（木）17:00

申込QRコード



問合せ先

経済産業省関東経済産業局産業部流通・サービス産業課

電話：048 (600) 0345 (平日 9:00～17:00)

MAIL: bzl-kanto-cbn@meti.go.jp